

令和5年度

病院事業会計決算の概要

令和6年9月30日

島根県病院局

# 令和5年度 病院事業の概要

## 1 概況

病院事業は、平成19年4月に地方公営企業法の全部適用に移行し、新たに病院事業を所管する独立した組織として、病院事業管理者の下、病院局が設置された。

病院局の組織には、本局（県立病院課）、中央病院及びこころの医療センターを置き、病院運営にあたっては、「医療機能の充実と政策医療の推進」「地域医療への積極的な支援」及び「医療従事者の育成」を重点3項目として取り組むとともに、経営の健全化に努め、質の高い医療や政策医療等を効果的・安定的に提供し、県立病院としての役割と使命を果たすこととしている。

令和5年度における中央病院の経営状況については、医業収益は「中央病院経営改善実行プラン2023」に基づく取組等により一定の増加はあったものの、新型コロナウイルス感染症に伴う補助金の大幅な減少により医業外収益が減少したことから、総収益は前年度比2.0%の減となった。

また、人事委員会勧告に伴う給与費の増、物価高騰等に伴う光熱費の高止まり、民間企業の賃上げに伴う委託費の増などにより医業費用が増加した。

この結果、経常損益については4年ぶりの赤字、単年度資金収支については3年ぶりの赤字となった。

令和6年3月には、総務省からの要請に基づき、更なる経営強化のための取組を進め、県立病院として持続可能な地域医療を提供するための指針となる「島根県立病院経営強化プラン」を策定した。また、令和5年度の取組も踏まえ、具体的な院内の取組内容を示した「中央病院経営改善実行プラン2024」も策定した。今後も材料費価格等の高止まりが続くことが予想されるため、これまでの取組の着実な継続と更なる診療報酬単価の増、経費の削減・圧縮、地域の医療機関との連携強化等に一層取り組むことにより、持続可能な病院経営を確保していく。

令和5年度におけるこころの医療センターの経営状況は、診療単価の上昇により入院収益は増加したものの、外来収益の減少や、給与費、委託料などの医業費用の増加を主因として経常損益については3年連続の赤字、純損益については2年連続の赤字を計上した。

今後は、これまで以上に受診者の増加や施設基準の確保などによる収益の増加、また、経費の節減や業務の効率化などによる費用の節減を図り、収支改善に取り組んでいく。

## 2 病院局本局

### (1) 組織



### (2) 職員の配置状況

(令和6年3月31日現在)

(単位:人)

職種		令和5年度 現員A	令和4年度 現員B	増減 A-B
特別職	病院事業管理者	1	1	0
医療職	参与	0	0	0
行政職	病院局長	1	1	0
	病院局次長	1	1	0
	県立病院課長	0	0	0
	病院事業管理者補佐	1	1	0
	管理監	1	0	1
	調整監	2	1	1
	課長代理	1	1	0
	課長補佐	5	0	5
	企画幹	0	4	▲ 4
	主任	1	0	1
	企画員	0	1	▲ 1
合計		14	11	3



## (2) 職員の配置状況

(令和6年3月31日現在)

(単位：人)

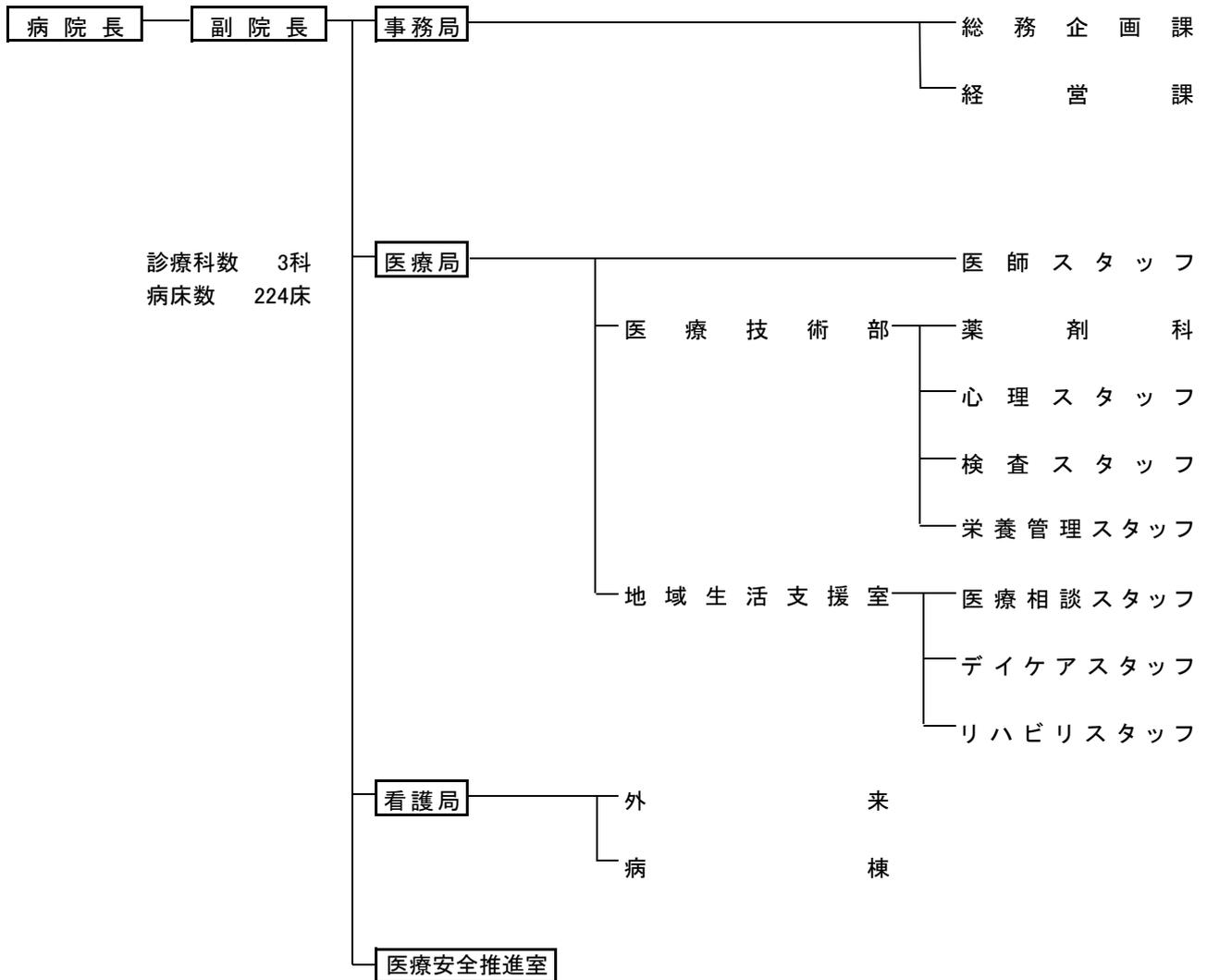
職 種	令和5年度現員			令和4年度現員			増 減			
	正規	会計年度	計	正規	会計年度	計	正規	会計年度	計	
医 師	病 院 長	1		1	1		1	0	0	0
	参 与 ・ 副 院 長	4		4	4		4	0	0	0
	医 療 局 長 ・ 次 長 ・ 薬 剤 局 長 ・ 医 療 技 術 局 長	5		5	6		6	▲ 1	0	▲ 1
	部 長	39		39	37		37	2	0	2
	医 長	61		61	71		71	▲ 10	0	▲ 10
	医 員	21		21	19		19	2	0	2
	嘱 託 ・ 研 修 医 師	0	29	29	0	28	28	0	1	1
計	131	29	160	138	28	166	▲ 7	1	▲ 6	
看 護 師	副 院 長 ・ 看 護 局 長 ・ 次 長	5		5	5		5	0	0	0
	看 護 部 長 ・ 師 長	28		28	29		29	▲ 1	0	▲ 1
	副 看 護 師 長	40		40	38		38	2	0	2
	看 護 師	524	51	575	517	58	575	7	▲ 7	0
	准 看 護 師	0	2	2	0	0	0	0	2	2
	助 産 師	43	4	47	44	3	47	▲ 1	1	0
計	640	57	697	633	61	694	7	▲ 4	3	
医 療 技 術 職 員	医 療 技 術 局 長	0		0	0		0	0	0	0
	薬 剤 師	35		35	36		36	▲ 1	0	▲ 1
	臨 床 検 査 技 師	38	8	46	32	8	40	6	0	6
	臨 床 工 学 技 士	20		20	18		18	2	0	2
	臨 床 心 理 士	4	1	5	2	2	4	2	▲ 1	1
	診 療 放 射 線 技 師	29		29	27	1	28	2	▲ 1	1
	理 学 療 法 士	18	3	21	18	2	20	0	1	1
	作 業 療 法 士	10		10	7	1	8	3	▲ 1	2
	言 語 聴 覚 士	5	1	6	5	1	6	0	0	0
	管 理 栄 養 士	14	3	17	11	3	14	3	0	3
	栄 養 士	2		2	2		2	0	0	0
	視 能 訓 練 士	3		3	3		3	0	0	0
	歯 科 衛 生 士	4	4	8	4	4	8	0	0	0
	心 理 判 定 員	0		0	0		0	0	0	0
診 療 情 報 管 理 士	9	2	11	7	4	11	2	▲ 2	0	
医 療 情 報 技 師	2		2	2		2	0	0	0	
社 会 福 祉 士	8	2	10	8	1	9	0	1	1	
計	201	24	225	182	27	209	19	▲ 3	16	
事 務 職 員	事 務 局 長 ・ 次 長 ・ 部 長 ・ 調 整 監 課 長	1		1	2		2	▲ 1	0	▲ 1
	主 幹 ・ 企 画 員 ・ 主 任 ・ 主 任 主 事 ・ 主 事 ・ 技 師	28		28	28		28	0	0	0
	事 務 員	0	115	115	0	103	103	0	12	12
	計	30	115	145	33	103	136	▲ 3	12	9
技 能 労 務 職 員	医 療 技 術 員	0		0	0		0	0	0	0
	運 転 技 師	0		0	0		0	0	0	0
	調 理 師	0		0	0		0	0	0	0
	営 繕 技 術 員	0		0	0		0	0	0	0
	施 設 管 理 技 師	0		0	0		0	0	0	0
	看 護 助 手	0	49	49	0	55	55	0	▲ 6	▲ 6
計	0	49	49	0	55	55	0	▲ 6	▲ 6	
合 計	1,002	274	1,276	986	274	1,260	16	0	16	

注) 令和5年度現員、令和4年度現員とも病院局本局を本務とする職員は含まない。

## 4 こころの医療センター

### (1) 組織

(令和6年3月31日現在)



## (2) 職員の配置状況

(令和6年3月31日現在)

(単位：人)

職 種	令和5年度現員			令和4年度現員			増 減			
	正規	会計 年度	計	正規	会計 年度	計	正規	会計 年度	計	
医 師	病 院 長	1		1	1		0	0	0	
	副 院 長	1		1	1		0	0	0	
	医 療 局 長	1		1	1		0	0	0	
	医 療 局 次 長	1		1	1		0	0	0	
	医 療 技 術 部 長	1		1	1		0	0	0	
	部 長	2		2	2		0	0	0	
	医 長	3		3	2		1	0	1	
	医 員	3		3	3		0	0	0	
嘱 託 ・ 研 修 医 師	0		0	0		0	0	0		
計	13	0	13	12	0	12	1	0	1	
看 護 師	看 護 局 長	1		1	1		0	0	0	
	看 護 局 次 長	1		1	1		0	0	0	
	看 護 師 長	7		7	7		0	0	0	
	副 看 護 師 長	12		12	12		0	0	0	
	看 護 師	105	16	121	102	12	114	3	4	7
	准 看 護 師	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	126	16	142	123	12	135	3	4	7	
医 療 技 術 職 員	薬 剤 師	4		4	4		0	0	0	
	臨 床 検 査 技 師	2	1	3	1	1	2	1	0	1
	作 業 療 法 士	4	3	7	4	4	8	0	▲ 1	▲ 1
	管 理 栄 養 士	2		2	2		2	0	0	0
	心 理 判 定 員	2		2	2		2	0	0	0
	臨 床 心 理 士	2	5	7	2	5	7	0	0	0
	病 歴 士 ・ 診 療 情 報 管 理 士	1	2	3	1	2	3	0	0	0
精 神 保 健 福 祉 士	8	4	12	7	4	11	1	0	1	
計	25	15	40	23	16	39	2	▲ 1	1	
事 務 職 員	事 務 局 長	1		1	1		0	0	0	
	調 整 監	0		0	0		0	0	0	
	課 長 ・ 企 画 幹	2		2	2		0	0	0	
	主 幹 ・ 企 画 員 ・ 主 任 ・ 主 任 主 事 ・ 主 事	7	12	19	7	11	18	0	1	1
計	10	12	22	10	11	21	0	1	1	
技 能 労 務 職 員	医 療 技 術 員	0		0	0		0	0	0	
	運 転 技 師	0		0	0		0	0	0	
	調 理 師	0		0	0		0	0	0	
	営 繕 技 術 員	0		0	0		0	0	0	
	施 設 管 理 技 師	0		0	0		0	0	0	
	看 護 助 手	0	11	11	0	11	11	0	0	0
計	0	11	11	0	11	11	0	0	0	
合 計	174	54	228	168	50	218	6	4	10	

注) 令和5年度現員、令和4年度現員とも病院局本局を本務とする職員は含まない。

## 令和5年度 病院事業会計決算の概要

### I 中央病院

#### 1 事業概要

- (1) 県内全域をエリアとした三次医療を担う基幹病院として、高度・特殊・専門医療の提供、政策医療の推進、地域医療への支援や医療従事者の育成などの役割を果たした。
- (2) 主な機能として高度救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、第二種感染症指定医療機関、地域周産期母子医療センターを運用し、また、ドクターヘリの基地病院として救命救急医療に取り組んだ。
- (3) 前年度に引き続き、新型コロナ重症患者等の受入に加え、PCR検査の実施や、他病院・診療所と連携して感染対策を実施するなど、病院全体でコロナ禍の状況に対応した。
- (4) 経営改善実行プランに基づき、収入増・費用削減の取組を実施した。
- (5) 患者数等の状況（対前年度比較）  
入院は、患者数は減少したが、診療単価は診療報酬改定の影響や医療の質の向上による診療報酬加算の取得等があり増加した。外来は患者数は減少、診療単価は増加した。

区分		令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A-B
入院	患者数（人）	160,545	165,568	▲ 5,023
	うち新規入院患者数	12,661	12,640	21
	診療単価（円）	76,218	74,132	2,086
外来	患者数（人）	219,598	228,730	▲ 9,132
	うち救急患者数	17,806	17,709	97
	診療単価（円）	20,285	18,548	1,737

#### 2 収益的収支

##### (1) 収 益

- ① 医業収益は、前年度比135百万円の増
  - 1) 入院収益：患者数の減により38百万円の減
  - 2) 外来収益：診療単価の増により212百万円の増
- ② 医業外収益は、補助金の減等により前年度比557百万円の減
- ③ 総収益は、前年度比422百万円の減

##### (2) 費 用

- ① 医業費用は、前年度比847百万円の増
    - 1) 給与費：給与改定による増等により391百万円の増
    - 2) 材料費：薬品費の増等により342百万円の増
    - 3) 経 費：委託料の増等により58百万円の増
    - 4) 減価償却費：前年度の工事に伴う建物減価償却費の増等により18百万円の増
  - ② 医業外費用は、前年度比48百万円の増
  - ③ 総費用は、前年度比894百万円の増
- (3) 経常損益は、457百万円の損失計上となり、前年度比1,317百万円の減益
  - (4) 純損益は、475百万円の損失計上となり、前年度比1,316百万円の減益

#### 3 資本的収支

- (1) 収入は、企業債や企業債償還金に充当する一般会計負担金等で2,865百万円
- (2) 支出は、建設改良費と企業債償還金で3,830百万円
- (3) 収支不足額965百万円は、過年度分損益勘定留保資金等により補填

#### 4 単年度資金収支

償却前損益に資本的収支を反映した単年度資金収支は▲622百万円で、前年度比1,102百万円の減

#### 5 比較貸借対照表

期末現金預金残高は2,143百万円で、前年度比126百万円の増

## 【令和5年度中央病院決算状況】

(単位：百万円)

	【収益的収支】	R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
1	総 収 益	20,684	21,106	▲ 422	
2	医業収益	17,834	17,699	135	
3	入院収益	12,236	12,274	▲ 38	患者数▲5,023人、単価+2,086円/人
4	外来収益	4,454	4,242	212	患者数▲9,132人、単価+1,737円/人
5	その他医業収益	1,143	1,183	▲ 40	一般会計負担金▲35
6	医業外収益	2,850	3,406	▲ 557	新型コロナウイルス感染症関連補助金▲439 一般会計負担金▲102
7	特別利益	0	0	▲ 0	
8	総 費 用	21,158	20,265	894	
9	医業費用	19,735	18,888	847	
10	給与費	10,184	9,793	391	給料+135、手当+135、報酬+57 法定福利費+26、退職給付費▲37
11	うち引当金	1,031	975	56	
12	材料費	4,633	4,291	342	薬品費+292、診療材料費+55
13	経費	3,441	3,383	58	委託料+63
14	減価償却費	1,336	1,317	18	建物+13、器械備品+7
15	その他医業費用	141	104	37	
16	医業外費用	1,406	1,358	48	併任医師給与一般会計負担金+57 控除対象外消費税+45 企業債償還利息▲35、診療報酬減点▲20
17	特別損失	17	18	▲ 1	
18	経常損益	▲ 457	859	▲ 1,317	(2行目+6行目)-(9行目+16行目)
19	純 損 益	▲ 475	841	▲ 1,316	1行目-8行目
20	償却前損益	343	1,411	▲ 1,069	
<b>【資本的収支】</b>					
		R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
21	資本的収入	2,865	2,322	543	企業債1,317 (+545) 一般会計負担金1,511 (+32) 新型コロナウイルス感染症対策設備整備費補助金21 (▲50) 保健衛生施設等施設・設備整備費補助金15 (皆増)
22	資本的支出	3,830	3,254	577	建設改良費1,365 (+524) 〔改良456 (+187)、資産購入909 (+337)〕 企業債償還2,464 (+51)
23	資本的収支	▲ 965	▲ 932	▲ 33	21行目-22行目
<b>【単年度資金収支】</b>					
		R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
24	単年度資金収支	▲ 622	480	▲ 1,102	20行目+23行目

注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

(単位：百万円)

	【比較貸借対照表】	期 末	期 首	比較増減	備 考 (主なもの)
25	固定資産	21,483	21,559	▲ 75	減価償却による減等
26	流動資産	4,972	5,265	▲ 293	
27	うち現金預金	2,143	2,017	126	
28	資産合計	26,456	26,823	▲ 368	
29	固定負債	11,708	13,097	▲ 1,388	企業債の減
30	流動負債	5,241	4,375	867	未払金の増、借入金500百万円が固定負債から流動負債となることによる増
31	繰延収益	6,720	6,092	628	長期前受金の増
32	負債合計	23,670	23,563	107	
33	資本金	1,761	1,761	0	
34	剰余金	1,024	1,499	▲ 475	当年度純損失による減
35	資本合計	2,785	3,260	▲ 475	
36	負債・資本合計	26,456	26,823	▲ 368	

注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。



### 3. 令和6年度の経営状況

#### (1) 入院・外来患者数（各年度累計比較）

（単位：人）

	R4. 8月末迄	R5. 8月末迄 A	R6. 8月末迄 B	増減 B - A	増減率 B / A
入院患者数	67,843	67,638	69,163	1,525	102.3%
外来患者数	96,292	93,895	94,204	309	100.3%

#### (2) 入院・外来収益（各年度累計比較）

（単位：百万円）

	R4. 8月末迄	R5. 8月末迄 C	R6. 8月末迄 D	増減 D - C	増減率 D / C
入院収益	4,912	5,187	5,330	143	102.8%
外来収益	1,779	1,853	1,937	85	104.6%
合計	6,691	7,040	7,267	228	103.2%

※計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

## II こころの医療センター

### 1 事業概要

- (1) 県の精神医療の基幹的病院として精神科救急・急性期医療や児童・思春期の精神疾患治療など医療の提供に取り組んだ。
- (2) 平成29年10月から指定を受けている医療観察法指定入院医療機関の運営により司法精神医療の提供に取り組んだ。
- (3) 患者数等の状況（前年度比較）

入院については診療単価は上昇するも患者数は減となり、外来については診療単価は減少するも患者数は増となった。

	令和5年度 A	令和4年度 B	増減 A－B
入院患者数（人）	55,163	57,618	▲ 2,455
上記のうち新規入院患者数	307	269	38
入院診療単価（円）	22,069	21,302	767
外来患者数（人）	24,757	24,688	69
上記のうち救急患者数	150	130	20
外来診療単価（円）	7,755	7,913	▲ 158

### 2 収益的収支

#### (1) 収益

- ① 医業収益は、前年度比22百万円の増
  - 1) 入院収益：診療単価上昇の影響が大きく、患者数は減少するも14百万円の増
  - 2) 外来収益：診療単価減少の影響が大きく、患者数は増加するも2百万円の減
  - 3) その他医業収益：看護師養成事業経費負担金の増等により12百万円の増
- ② 医業外収益は、一般会計負担金や他会計補助金の減等により前年度比9百万円の減
- ③ 総収益は、前年度比39百万円の減

#### (2) 費用

- ① 医業費用は、前年度比126百万円の増
    - 1) 給与費：給料や手当の増等により54百万円の増
    - 2) 材料費：薬品費の減等により10百万円の減
    - 3) 経費：委託料の増等により79百万円の増
  - ② 医業外費用は、雑損失の増等により前年度比26百万円の増
  - ③ 総費用は、前年度比152百万円の増
- (3) 経常損益は、296百万円の損失計上となり、前年度比138百万円の減益
- (4) 純損益は、281百万円の損失計上となり、前年度比191百万円の減益

### 3 資本的収支

- (1) 収入は、企業債と企業債償還金に充当する一般会計負担金で276百万円
- (2) 支出は、建設改良費と企業債償還金で310百万円
- (3) 収支不足額34百万円は、過年度分損益勘定留保資金等により補填

### 4 単年度資金収支

償却前損益に資本的収支を反映した単年度資金収支は、▲232百万円で前年度比163百万円の減

### 5 比較貸借対照表

期末現金預金残高は377百万円で、前年度比136百万円の減

## 【令和5年度こころの医療センター決算状況】

(単位：百万円)

	【収益的収支】	R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
1	総 収 益	2,570	2,609	▲ 39	
2	医業収益	1,506	1,484	22	
3	入院収益	1,241	1,227	14	患者数▲2,455人、単価+767円/人
4	外来収益	193	195	▲ 2	患者数+69人、単価▲158円/人
5	その他医業収益	73	61	12	看護師養成事業経費負担金+10
6	医業外収益	1,048	1,057	▲ 9	医療機関等食材費高騰対応策応援金+4、 コロナウイルス感染症患者等病床確保事業費 補助金▲7、精神病院不採算負担金▲11、退職 給付費他病院負担金+6
7	特別利益	15	69	▲ 54	過年度減価償却のうち一般会計負担金等見合 分▲54
8	総 費 用	2,851	2,699	152	
9	医業費用	2,640	2,514	126	
10	給与費	1,699	1,645	54	給料+23、手当+29、賞与引当金繰入(正・ 会)+13、報酬+14、法定福利費+2、退職給付 費▲27
11	うち、引当金	210	222	▲ 12	
12	材料費	102	112	▲ 10	薬品費▲9
13	経費	569	490	79	光熱水費・燃料費▲2、旅費交通費▲1、委託 料+82(うちPFI+84、それ以外の委託料▲2)
14	減価償却費	259	260	▲ 1	
15	その他医業費用	11	7	4	
16	医業外費用	211	185	26	雑損失+30、企業債利息▲4
17	特別損失	0	0	0	
18	経常損益	▲ 296	▲ 158	▲ 138	(2行目+6行目)-(9行目+16行目)
19	純 損 益	▲ 281	▲ 90	▲ 191	1行目-8行目
20	償却前損益	▲ 198	▲ 34	▲ 164	

	【資本的収支】	R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
21	資本的収入	276	343	▲ 67	企業債37(▲13) 一般会計負担金239 (▲54)
22	資本的支出	310	378	▲ 68	建設改良費38(▲72) [改良費1(▲31)、資産購入37(+17)、 若松分校年賦購入費0(▲58)] 企業債償還271(+3)
23	資本的収支	▲ 34	▲ 35	1	21行目-22行目
	【単年度資金収支】	R 5年度 A	R 4年度 B	比較増減 A-B	備 考 (主なもの)
24	単年度資金収支	▲ 232	▲ 69	▲ 163	20行目+23行目

注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

(単位：百万円)

	【比較貸借対照表】	期 末	期 首	比較増減	備 考 (主なもの)
25	固定資産	3,526	4,247	▲ 721	減価償却による減等
26	流動資産	1,130	791	339	貸付金500百万円が固定資産から流動資産になったため
27	うち現金預金	377	513	▲ 136	
28	資産合計	4,656	5,038	▲ 382	
29	固定負債	4,086	4,262	▲ 176	企業債の減
30	流動負債	623	542	81	未払金の増
31	繰延収益	162	168	▲ 6	
32	負債合計	4,871	4,972	▲ 101	
33	資本金	84	84	0	
34	剰余金	▲ 298	▲ 17	▲ 281	
35	資本合計	▲ 215	66	▲ 281	
36	負債・資本合計	4,656	5,038	▲ 382	

注) 計数については、それぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

## こころの医療センターの経営改善の取組

### 1. 経営状況と改善に向けた取組

- 令和5年度は、収益については入院収益の増による医業収益の増加などにより増収となった一方で、費用は給与費の増及び物価高騰等による経費の増が収益の伸びを上回り、経常損益、純損益とも令和4年度に続きマイナス決算となった。
- 経常損益が3年連続の赤字となり、現状のままでは今後とも収支が悪化することが予想されることから、持続可能な病院経営を確保するため、「経営改善実行プラン」を策定し、病院全体で経営改善、安定化に取り組んで行く。

### 2. 収支改善

#### (1) 入院患者の増加に向けた外来診療体制の見直し

- ・ 外来ファーストコール体制を強化
- ・ 緊急患者の積極的な受け入れ など

#### (2) 児童思春期部門のあり方検討

- ・ 院内ワーキングを立ち上げ、新たな展開を検討

#### (3) R6診療報酬改定を踏まえた施設基準の確保

- ・ 適切な検討を行い、新たな施設基準の取得
- ・ 既に取得している施設基準の要件確保

#### (4) 広報の推進

- ・ 病院局広報部門と連携を図り、院内の取組を情報発信 など

#### (5) 支出の削減に向けた取組

- ・ 各部署の業務効率化事例の紹介、実践
- ・ 電気代の削減の検討 など

### 3. 令和6年度の経営状況

#### (1) 入院・外来患者数（各年度累計比較）

（単位：人）

	R4. 8月末迄	R5. 8月末迄 A	R6. 8月末迄 B	増減 B - A	増減率 B / A
入院患者数	24,644	22,941	22,509	▲ 432	98.1%
外来患者数	10,238	10,382	10,413	31	100.3%

#### (2) 入院・外来収益（各年度累計比較）

（単位：百万円）

	R4. 8月末迄	R5. 8月末迄 C	R6. 8月末迄 D	増減 D - C	増減率 D / C
入院収益	519	502	525	23	104.6%
外来収益	83	84	82	▲ 2	97.6%
合計	602	586	607	21	103.6%

※R6. 8月末迄の値は暫定値、計数についてはそれぞれ四捨五入によっているため、合計等と一致しないものがある。

### Ⅲ 資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）第22条第1項に規定する資金不足比率について、病院事業会計では令和5年度決算において資金不足が生じていないため、該当ありません。

#### (1) 公営企業の資金不足比率の算出方法

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額}}{\text{事業規模}}$$

- ・ 資金不足額 = (流動負債－控除企業債等－PFI建設事業費等) － (流動資産)
- ・ 事業の規模 = 営業収益の額 － 受託工事収益の額

#### (2) 病院事業会計の資金不足比率の算出

##### ① 資金不足額

(単位：千円)

区分	A=a-b	流動負債	控除企業債等	B=c	流動資産	資金不足額 C = A - B
		a	b		c	
病院事業会計	3,193,544	5,864,079	2,670,535	6,102,090	6,102,090	▲ 2,908,546
中央病院	2,838,075	5,241,480	2,403,405	4,972,043	4,972,043	▲ 2,133,968
こころの医療センター	355,469	622,599	267,130	1,130,047	1,130,047	▲ 774,578

- ・ 資金不足額が負の数の場合は、資金剰余額を示す。

##### ② 資金不足比率

(単位：千円)

区分	資金不足額 C	事業の規模 D	資金不足比率 C/D
病院事業会計	▲ 2,908,546	19,243,349	－%
中央病院	▲ 2,133,968	17,770,482	－%
こころの医療センター	▲ 774,578	1,472,867	－%

#### (3) 参考

資金不足比率が経営健全化基準である20%を超過すると、経営健全化計画の策定が必要となる。